

平成 28 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 住友商事株式会社
代表者名 取締役社長 中村 邦晴
(コード番号:8053 東証第 1 部)
問合せ先 広報部長 新森 健之
(TEL. 03-5166-3100)

中期経営計画(2015 年度～2017 年度)の一部修正に関するお知らせ

当社は、資源価格低迷の長期化等、事業環境の悪化を踏まえ、平成 27 年 3 月 25 日に公表いたしました 2015 年度～2017 年度の中期経営計画「Be the Best, Be the One 2017」における定量計画を、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 定量計画修正の内容

		当初計画 (平成 27 年 3 月公表)	修正計画 (今回公表)
✓ <u>利益計画</u>			
・連結純利益 ^(※1)	: 2015 年度	2,300 億円	745 億円(実績)
	2016 年度	—	1,300 億円
	2017 年度	3,000 億円以上	2,200 億円以上
・ROA	: 2017 年度	3%以上	2.5%以上
・リスク・リターン	: 2017 年度	10%以上	9.0%以上
・ROE	: 2017 年度	10%程度	9.0%程度
✓ <u>財務方針</u>			
・コア・リスクバッファー と リスクアセットのバランス ^(※2)	: 2017 年度末 までに	バランス回復	バランス回復
・フリーキャッシュ・フロー	: 3 年合計	+2,000 億円	+7,000 億円
・配当後フリーキャッシュ・フロー	: 3 年合計	黒字確保	+5,000 億円
✓ <u>投資計画</u>	: 3 年合計	1 兆 2,000 億円	1 兆円

^(※1) 「連結純利益」は、国際会計基準(IFRS)の「当期利益(親会社の所有者に帰属)」と同じ内容を示しています。

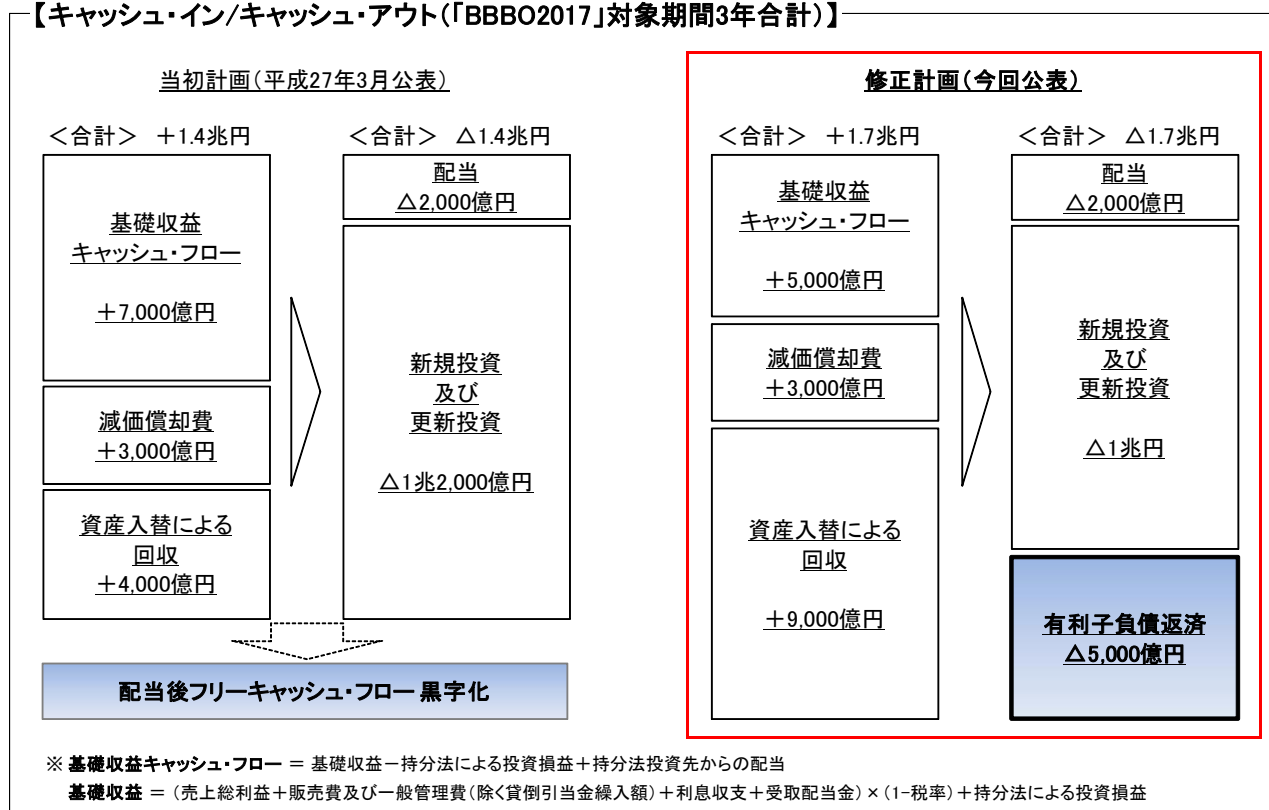
^(※2) 「コア・リスクバッファー」とは、「資本金」、「剰余金」及び「在外営業活動体の換算差額」の和から「自己株式」を差し引いて得られる数値で、当社は、最大損失可能性額である「リスクアセット」を「コア・リスクバッファー」の範囲内に収めることを経営の基本としています。

2. 修正の理由

昨年4月よりスタートした2015年度～2017年度の中期経営計画「Be the Best, Be the One (BBBO)2017」においては、当社のビジネスを取り巻く諸環境の変化や2014年度に発生した大型減損損失等で顕在化した経営課題を踏まえ、当社グループが一丸となって課題を克服し、「目指す姿」実現への道筋をつけることをテーマとし、取り組んで参りましたが、資源価格低迷の長期化等により、資源ビジネスや鋼管事業の業績に回復の遅れが見込まれることから、中期経営計画の最終年度となる2017年度の連結純利益計画を「3,000億円以上」から「2,200億円以上」に修正いたしました。

また、「BBBO2017」においては、財務健全性の確保を目的として、「配当後フリーキャッシュ・フロー(3年合計)の黒字確保」を掲げておりましたが、昨今の事業環境の悪化等を踏まえ、資産入替の一層の推進により、配当後フリーキャッシュ・フロー(3年合計)を5,000億円確保し、回収した資金で有利子負債を返済することによって、もう一段の財務体質強化を図ることいたしました。

【キャッシュ・イン/キャッシュ・アウト(「BBBO2017」対象期間3年合計)】



詳細については、本日公表いたしました「平成28年3月期 決算短信[IFRS](連結)」(2.経営方針 (2)今後の対処すべき課題)をご参照下さい。

以上

(注) 将来情報に関するご注意

当社の経営目標及びその他の将来予測に関する開示内容は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。